

小學兒童及中等學生ニ於ケル赤血球沈降速度竝ニ 之ト「ツベルクリン」反應等トノ關係ニ就テ

奈良縣衛生技師 砂川正亮

(4月19日原稿受理)

目次

第一章 緒言	第二節 赤血球沈降速度ト血液型トノ關係
第二章 中等學生ニ於ケル赤血球沈降速度	第三節 赤血球沈降速度ト榮養、發育概評及齶 齒トノ關係
第三章 小學兒童ニ於ケル赤血球沈降速度	第五章 赤血球沈降速度促進者ノ臨牀的所見
第四章 赤血球沈降速度ト各種關係	第六章 赤血球沈降速度ノ時間的推移
第一節 赤血球沈降速度ト「ツベルクリン」皮内 反應トノ關係	第七章 總括

第一章 緒言

「ツベルクリン」反應検査ガ結核ノ診斷、或ハ豫後判定上、參考資料トシテ用フ可キハ一般ノ認ムル所ナリ、然レドモ同反應陽性ナリトテ直ニ結核發病ト斷定スルヲ得ズ、ソハ一旦結核菌ノ感染ヲ受ケタルモノハ臨牀的意義ニ於テ既ニ活動停止セルモノ、或ハ既ニ治癒シタルモノモ陽性反應ヲ呈スルヲ以テ、成人ニ於テハ一般ニ反應陰性ナル時(陰性「アネルギー」ニ非ザル限り)ニ、個體ニ結核感染ノ存セザル事ヲ大體ニ於テ示スモノナリ。故ニ之ニ赤血球沈降速度ヲ併用シ結核ノ診斷ニ資セムトスル者多シ、余ハ「ツベルクリン」皮内反應ノ成績ニ就テハ巽ニ奈良縣内小學兒童及中等學生 2219 人ニ於ケル調査成績ヲ報告シタルニヨリ(結核、第13卷、第3號、昭和10年3月)今回ハ主トシテ赤血球沈降速度測定ノ結果及之ト「ツベルクリン」反應(以下「ツ」反應ト略稱ス)其他ノ關係ヲ述ベントス。抑々赤血球沈降速度(以下赤沈ト略稱ス)ハ1918年、瑞典ノフェーレウスガ妊婦診斷ニ應用セシニ創リ、1921年ウエステルグレンガ之ヲ初メテ結核ニ應用セシニヨリ、諸學者ノ研究旺ニ行ハレ、内科、婦人科、外科其他各方面ヲ通シテ其

ノ業績報告簇出シ、今ヤ其ノ臨牀的價値ハ學界ニ認メラレ、殊ニ結核ニ對スル診斷、經過及豫後ノ判定上緊要ナル一資料タルニ到レリ。然レドモ此赤沈速度ハ結核ニ對スル特異ノ反應ニ非ズ、其ノ速度ノ遲速ハ血液成分ノ諸種ノ理學的關係、即チ赤血球數及其ノ大サ、血漿ノ比重、表面張力、粘稠度、「フキブリノゲン」量、「グロブリン」量、血球電荷、「コレステリン」量等ニヨリテ左右セラル、ハ既ニ諸前人ノ報告セル所ニシテ、又生理的ニハ妊娠後半期及月經時等、臨牀的ニハ諸種ノ組織崩壞ヲ伴フ疾患ニ於テ促進シ、其ノ本態的研究ニ就テハ未ダ尙完成サレザル状態ニ在リ、茲ニ余ガ本調査ヲ思ヒ立チタル所以ナリ。余ノ調査材料ハ巽ニ「ツ」反應検査ニ當リタル奈良縣内中等學生及小學兒童 468 名ニシテ、體格検査ニヨリ健康ト認メタルモノナリ。

中等學校ニ於テハ昭和9年12月1日ヨリ同12日迄12日間、小學校ニ於テハ昭和10年5月9日ヨリ同11日迄3日間ニ、何レモ、ウエステルグレン氏法ニヨリテ施行セリ。採血ニ當リテハ出來ルヒテ鬱血ヲ避け、採血後ノ操作中ニ於

テハ強キ振盪又ハ氣泡ノ生ゼザル様注意スルト共ニ血球ガ充分ニ均等ニ混和スル様努メタリ。測定時ノ室溫ハ、中等學校ニ於テハ攝氏 15 度乃至 18 度、小學校ニ於テハ攝氏 18 度乃至 20

度ナリ。採血時間ハ中小校共午前 10 時ヨリ同 11 時迄及ビ午後 3 時ヨリ同 4 時迄ノ空腹時ニ行ヘリ。

第二章 中等學生ニ於ケル性別及年齡別赤沈速度

奈良縣ニ於ケル中等學生中、身體検査ノ結果健康ト認ムル者 398 名ニ就キ、赤沈速度ヲ測定シ、性別及年齡別ニ其ノ成績ヲ表示スルコト次ノ如シ。

第 1 表 中等學生ニ於ケル性別及年齡別赤沈速度

年齢	性別	調査人員	赤沈 1 時間値			赤沈 2 時間値			赤沈 中等値		
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
15	♂	34	5.2	26.0	1.0	11.0	53.0	2.0	4.3	26.3	1.0
16	♂	30	5.7	17.0	1.0	12.0	31.0	2.0	5.9	16.3	1.0
17	♂	44	4.0	24.0	0	7.6	31.0	1.0	3.9	19.8	0.3
18	♂	51	8.2	42.0	0	15.0	63.0	2.0	7.9	36.8	0.5
19	♂	59	5.9	54.0	0	12.1	69.0	1.0	6.0	44.3	0.3
20	♂	30	3.8	17.0	1.0	8.3	34.0	2.0	4.0	17.0	1.0
21	♂	13	7.8	22.0	1.0	17.1	40.0	2.0	8.2	21.0	1.0
	計	261	5.9	54.0	0	11.9	69.0	1.0	5.9	44.3	0.3
15	♀	16	7.1	17.0	2.0	14.5	29.0	3.0	7.2	16.8	1.8
16	♀	14	6.2	21.0	3.0	13.4	38.0	5.0	6.5	20.0	2.8
17	♀	23	9.3	38.0	1.0	20.2	60.0	3.0	9.7	34.0	1.3
18	♀	36	11.0	37.0	1.0	20.8	50.0	2.0	10.7	56.0	1.0
19	♀	19	13.7	66.0	2.0	23.9	83.0	5.0	12.8	53.8	2.3
20	♀	20	11.5	60.0	2.0	23.3	94.0	6.0	11.6	53.5	2.5
21	♀	9	8.7	29.0	2.0	15.9	43.0	3.0	8.3	25.3	1.8
	計	137	10.1	66.0	1.0	19.5	94.0	2.0	9.9	56.5	1.0

即チ男 261 人ノ平均ニ於テ Katz 氏中等値 5.9 耗、女 137 人平均ニ於テ 9.9 耗ニシテ男ヨリモ女ノ速度促進セリ。之ヲ諸家ノ報告ト比較スルニ、男ニアリテハ大谷氏 1.7 耗、佐々及小林氏 2.0 耗、Westergren 氏 3.0 耗、Fahraeus 氏 3.3 耗等ヨリハ高く、今村氏 7.7 耗、井下、田中及米田諸氏等 7.5 耗

ヨリハ低ク、吉本氏 5.8 耗、荒川氏 5.6 耗、渡部氏 6.0 耗等ト略々一致セリ。又女ニアリテハ大谷氏 8.8 耗、渡部氏 7.8 耗、Fahraeus 氏 7.4 耗、Westergren 氏 7.0 耗等ヨリハ高く、荒川氏 13.2 耗、吉本氏 16.0 耗、今村氏 13.1 耗 (Haselhorst) 氏 12.0 耗等ヨリハ低シ。

第三章 小學兒童ニ於ケル性別及年齡別赤沈速度

昭和 4、5、6—3 年間結核死亡者皆無ナリシ奈良縣山邊郡東里村ノ笠間小學校ニ於テ身體検査ノ結果、健康ト認ムル者ヲ 6 學級各級ヨリ選出シ、

其男女 60%ニ就テ赤沈速度ヲ測定シ、性別及年齡別ニ其成績ヲ表示スルコト第二表ノ如シ。即チ男ニ於ケル赤沈中等値ハ 10 歳 18.2 耗ニシ

第2表 小學兒童ニ於ケル赤血球沈降速度平均

年齢	測定時間 性別	0.30分	1.00時	1.30	2.00	2.30	3.00	3.30	4.00	12.00	24.00	中等値
		9	♂	6.5	15.8	23.8	32.2	39.9	46.1	50.7	55.2	77.6
10	♂	6.7	19.0	28.7	36.8	43.5	48.6	25.6	55.6	74.8	87.3	18.2
11	♂	6.0	16.1	26.5	36.4	44.8	51.6	57.0	60.7	80.1	93.1	17.2
12	♂	2.6	6.6	11.2	16.4	20.7	24.8	28.9	32.6	62.9	74.5	7.4
13	♂	2.4	6.2	10.7	15.0	19.2	22.9	27.1	30.0	55.4	68.1	6.9
14	♂	4.2	9.8	15.9	21.8	27.5	32.3	45.6	40.4	66.3	79.8	10.4
	計	4.7	11.9	19.5	26.4	32.6	37.7	43.7	45.8	69.5	82.0	12.7
9	♀	5.1	11.8	19.5	27.2	33.9	39.9	44.2	48.7	72.0	84.4	12.7
10	♀	4.9	12.2	20.4	28.5	35.4	40.8	15.0	48.8	65.8	79.5	13.2
11	♀	5.2	14.4	22.0	29.2	35.4	40.2	44.1	47.1	66.1	80.4	14.5
12	♀	2.8	7.7	12.9	18.5	23.3	27.9	32.7	36.0	64.4	75.3	8.5
13	♀	2.5	6.5	11.7	16.4	20.8	24.6	28.3	30.9	52.4	64.2	7.4
14	♀	3.1	7.2	12.3	17.0	21.6	25.9	30.9	34.4	62.7	77.1	7.9
	計	3.9	10.0	16.5	22.8	28.4	33.2	35.9	41.0	63.9	76.8	10.7

テ最モ高ク、次ハ11歳17.2、9歳16.0、14歳10.4、12歳7.4、13歳6.9耗ノ順ナリ。又女ニ於テハ11歳14.5耗、10歳13.2、9歳12.7、12歳8.5、14歳7.9、13歳7.4耗等ノ順ニシテ、男女ヲ通シテ12乃至13歳ノ少年ヨリモ9乃至11歳ノ幼年ガ赤沈速度大ナリ。而シテ幼年ノ赤沈速度ニ就テハ Dehoff 氏ガ7歳ヨリ8歳迄3—4耗9歳ヨリ14歳迄2—3耗ナリト發表シ、又 Asal-Falkenheim 氏ガ10歳迄6—14耗、10歳ヨリ14歳迄3—6耗ナリト發表セ

ルニ比較シ、余ノ調査ニ於テハ速度促進セリ。性別ノ關係ヲ觀ルニ男30人平均12.7耗、女30人平均10.7耗ニシテ女ヨリモ男ノ速度促進シ、中等學生ニ於テ男5.9耗、女9.9耗ナルニ比較スレバ男女ノ地位顛倒セリ。小兒ニ於テハ一般成人一比シ2倍乃至3倍促進セリトハ、既一 Bardoch 氏ガ發表セル所ナレド、之ト同時ニ性的關係ニ於テ成人ト小兒ガ反對ノ現象ヲ呈シ、女ヨリモ男ノ速度ガ促進セルハ注目スベキ事ナルガ尙ホ多數ノ調査ヲ俟タザルベカラズ。

第四章 赤沈ト各種關係

第一節 「ツベルクリン」皮内反應ト赤血球沈降速度トノ關係

「ツ」皮内反應陰陽性ト赤沈速度ノ遲速ノ間ニ如何ナル關係アリヤ、之ヲ第3表及第4表ニヨリ觀察セントス、但シ本調査ノ對象ハ小、中等學

生ヲ通ジ、「ツ」反應及赤沈速度共ニ検査セル137名ニヨレリ。次表ニ現ハレタル所ニ據レバ、男ニ於ケル赤沈

第3表 「ツ」皮内反應別ニヨル赤血球沈降速度

「ツ」反應	性別	調査人員	赤沈1時間値			赤沈2時間値			赤沈中等値		
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
陰性	—	87	4.0	41.0	0	8.5	61.0	1.0	4.1	35.6	0.3
	+	18	4.2	11.0	1.0	10.4	21.0	3.0	4.7	10.8	1.3

陽性	+	♂	42	4.1	26.0	0	11.6	53.0	1.0	5.0	26.3	0.3
	++	♂	44	8.2	42.0	0	14.6	69.0	1.0	7.8	38.3	0.3
	+++	♂	70	6.6	54.0	0	13.1	64.0	2.0	6.6	43.0	0.5
	計		261	5.9	54.0	0	11.6	69.0	1.0	5.9	44.3	0.3
陰性	-	♀	29	8.5	38.0	2.0	17.8	60.0	4.0	8.7	34.0	2.0
	±	♀	12	7.8	20.0	2.0	17.3	35.0	3.0	8.2	18.8	1.8
陽性	+	♀	45	9.5	50.0	2.0	17.5	72.0	3.0	9.1	43.0	1.8
	++	♀	10	9.5	24.0	3.0	21.6	33.0	10.0	10.2	20.3	4.0
	+++	♀	41	13.2	66.0	1.0	23.5	94.0	2.0	12.5	56.5	1.0
	計		137	10.1	66.0	1.0	19.5	94.0	2.0	9.9	56.5	1.0

第 4 表 赤沈速度別ニヨル「ツ」皮内反應陰陽性

「ツ」反應	性別	赤沈中等値 調査人員	0	5.1	10.1	0	0	10.1	15.1	20.1	25.1	30.1	35.1	40.1	10.1	10.1
			5.0	10.0	10.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	45.0	45.0	計
陽性	+++	♂	72	46	8	54	75.0	7	6	2		1		2	18	25.0
	++	♂	42	26	7	33	78.6	4	2	1	1	1			9	21.4
	+	♂	42	30	8	38	90.5	3			1				4	9.5
陰性	±	♂	18	13	4	17	94.4	1							1	5.6
	-	♂	87	65	14	79	90.8	4	2			1	1		8	9.2
計	♂	261	180	41	221	84.7	19	10	3	2	3	1	2	40	15.3	

「ツ」反應	性別	赤沈中等値 調査人員	0	5.1	10.1	0	0	15.1	20.1	25.1	30.1	35.1	40.1	15.1	15.1
			5.0	10.0	15.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	45.0	計	計
陽性	+++	♀	39	15	9	5	29	74.4	2	3	3	2		10	25.6
	++	♀	13	5	4	2	11	84.6	2					2	15.4
	+	♀	44	17	15	7	39	88.4	1	3	1			5	11.4
陰性	±	♀	12	3	3	3	9	75.0	2	1				3	25.0
	-	♀	29	11	13	1	25	86.2	2		1	1		4	13.8
計	♀	136	51	44	17		82.4	9	7	5	3		24	17.6	

速度 10 耗以上ノ者ハ、「ツ」皮内反應強陽性(++)ニ最モ多ク、中等度陽性(+)之ニ次ギ、擬陽性(±)最モ尠ナシ、又女子ニ於ケル赤沈速度 15 耗以上ノ者ハ、強陽性(++)ニ最モ多ク、次ハ擬陽性(±)、中等度陽性(+)、弱陽性(+)、陰性(-)

ノ順ナリ。
以上ノ成績ニヨリテ觀レバ、赤沈速度促進者ハ男女ヲ通ジテ「ツ」皮内反應陽性者、殊ニ強陽性者ニ多キヲ知ルベシ。

第二節 血液型ト赤血球沈降速度トノ關係

1901 年、カルル・ランドスタイン氏ガ、人同種血球凝集反應ニヨリテ人類ノ血液型分類ノ基礎ヲ作り、血清學的ニ四種ノ類型アルヲ明カシテ以來、多數ノ學者ニヨリテ此ノ血清學的體質型トモ謂フベキ血液型ガ一定ノ疾患、又ハ個人ノ氣質ト何等カノ關係アリヤ否ヤニ就キ研究サレ

タリ。今ヤ臨牀上及法醫學上ニモ重要ナル一資料トシテ應用セラレ、其他人類學上寄與スル所尠ナカラズ。而シテ此ノ血液型ト疾患トノ關係ニ就テハアムゼル及ハルベル氏等ニヨリテ、カノワッセルマン氏反應トノ間ニ一定ノ關係アルヲ比較的ニ明カサレタルノミニテ、結核ハ其

第5表 血型別ニ表ハレタル赤血球沈降速度

血液型	性別	調査人員	赤沈1時間値			赤沈2時間値			赤沈中等値		
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
O	♂	72	3.5	50.0	0	8.3	72.0	2.0	3.8	43.0	0.5
A	♂	109	7.4	54.0	0	13.0	69.0	1.0	7.0	44.3	0.3
B	♂	54	5.8	42.0	1.0	12.0	63.0	2.0	5.9	36.8	1.0
AB	♂	26	6.5	40.0	1.0	12.5	51.0	2.0	6.4	44.3	1.0
	計	261	5.9	54.0	0	11.6	69.0	1.0	5.9	44.3	0.3
O	♀	43	9.2	38.0	2.0	18.2	60.0	3.0	9.2	34.0	1.8
A	♀	52	9.3	33.0	1.0	19.3	50.0	2.0	9.5	29.0	1.0
B	♀	32	14.1	66.0	3.0	23.8	94.0	5.0	13.0	56.5	1.0
AB	♀	10	7.3	23.0	2.0	14.1	34.0	5.0	7.2	20.0	2.3
	計	137	10.1	66.0	1.0	19.5	94.0	2.0	9.9	56.5	1.0

第6表 赤沈速度別ニ表ハレタル血液型

血型	性別	赤沈中等値 調査人員	0	5.1	10.1	15.1	20.1	25.1	30.1	35.1	40.1	45.1	10.1	10.1	
			5.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	計	%	計	%
O	♂	73	60	11	71	97.6	1			1		2	2	2.4	
A	♂	108	69	14	83	76.8	11	8	1	2	1	2	25	23.2	
B	♂	54	34	9	43	79.6	7	2	1		1		11	20.4	
AB	♂	26	17	4	21	80.8	3		1				5	19.2	
	計	257	180	38	218	83.3	22	10	3	2	2	2		16.7	
O	♀	43	19	11	7	37	86.0	4		1	1		6	14.0	
A	♀	53	16	20	7	43	81.1	3	4	3			10	18.9	
B	♀	33	11	10	2	23	69.7	2	3	1	2		2	30.3	
AB	♀	9	5	3	1	9	100.0						0	0	
	計	138	51	44	17	112	81.2	9	7	5	3		2	26	18.8

他ノ傳染病トノ關係ニ就テハ諸學者ノ調査區々ニシテ未ダ定説ナシ。竝ニ余ハ今回ノ赤沈測定ト併セテ各人ノ血型ヲ検査シ、以テ兩者ノ關係ヲ觀察セントス。

即チ血液型ニ於ケル赤沈中等値ハ、男ニアリテハA型7.0耗、AB型6.4耗、B型5.9耗、O型3.8耗、女ニアリテハB型13.0耗、A型9.5耗、O型9.2耗、AB型7.2耗ノ順ナリ。又之ヲ赤沈速度5.0耗別ニ區分シテ各型ニ於ケル人員數ノ分布ヲ示セハ第6表ノ如シ。

右表ニヨリテ觀ルニ、男ニ於ケル赤沈速度10耗以上ノ促進者ハA型23.2%、B型20.4%、AB型19.2%、O型2.4%ニシテ、A型ニ最モ多クB型之ニ次ギ、O型ハ最モ尠ナシ、又女ニ於ケル赤沈速度15耗以上ノ促進者ハB型30.3%、A型18.9%、O型14.0%、AB型0ニシテ、B型ニ最モ多ク、次ハA型、O型、AB型ノ順ナリ。要スルニ血液型ニ於ケル赤沈速進者ハ、男ニ於テハA型ニ多ク、女ニ於テハB型ニ多シ。

第三節 赤血球沈降速度ト榮養、發育概評及齶齒トノ關係

榮養及發育狀態ノ良否竝ニ齶齒ノ有無ガ赤血球沈降速度ト如何ナル關係アリヤヲ觀察セントメ、シ榮養ノ良中下及發育概評ノ甲乙丙ノ判定ハ小學校ニ於ケル兒童身體検査ノ標準ニ據レリ。次記第7表、第8表、第9表ノ調査ヲ爲ス。但 即チ榮養別ニ表ハレタル赤沈速度中等値ノ平均

第7表 榮養別ニ表ハレタル赤血球沈降速度

榮養別	性別	調査人員	赤沈1時間値			赤沈2時間値			赤沈中等値		
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
良	♂	196	5.7	54.0	0	11.1	69.0	1.0	5.6	44.3	0.3
中	♂	65	5.9	40.0	0	12.1	51.0	2.0	6.0	32.8	0.5
下	♂	0									
	計	261	5.9	54.0	0	11.6	69.0	1.0	5.9	44.3	0.3
良	♀	106	9.9	66.0	1.0	19.3	94.0	2.0	9.8	56.5	1.3
中	♀	31	11.2	38.0	2.0	20.6	60.0	4.0	10.8	34.0	2.0
下	♀	0									
	計	137	10.1	66.0	1.0	19.5	94.0	2.0	9.9	56.5	1.0

第8表 發育概評別ニ表ハレタル赤血球沈降速度

發育概評別	性別	調査人員	赤沈1時間値			赤沈2時間値			赤沈中等値		
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
甲	♂	121	5.3	42.0	0	10.8	63.0	1.0	5.4	36.8	0.3
乙	♂	107	6.3	54.0	0	11.7	69.0	1.0	6.1	41.3	0.3
丙	♂	33	5.5	25.0	0	12.0	41.0	1.0	5.8	23.0	0.3
	計	261	5.9	54.0	0	11.6	69.0	1.0	5.9	41.3	0.3
甲	♀	78	10.5	66.0	1.0	19.6	94.0	2.0	10.2	56.5	1.0
乙	♀	53	9.8	38.0	2.0	19.5	60.0	4.0	9.8	34.0	2.0
丙	♀	6	11.0	38.0	2.0	18.2	60.0	4.0	10.1	34.0	2.0
	計	137	10.1	66.0	1.0	19.5	94.0	2.0	9.9	56.5	1.0

第9表 齶齒有無別ニ表ハレタル赤血球沈降速度

齶齒	性別	調査人員	赤沈1時間値			赤沈2時間値			赤沈平均値		
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小
有	♂	126	5.8	54.0	0	11.4	69.0	1.0	5.8	44.3	0.3
無	♂	135	5.6	54.0	0	11.2	64.0	1.0	5.6	43.0	0.3
	計	261	5.9	54.0	0	11.6	69.0	1.0	5.9	44.3	0.3
有	♀	75	11.4	60.0	1.0	21.0	94.0	2.0	11.0	53.5	1.0
無	♀	62	8.8	66.0	2.0	18.0	83.0	3.0	8.9	53.8	1.8
	計	137	10.1	66.0	1.0	19.5	94.0	2.0	9.9	56.5	1.0

價ハ、男ニ於テハ榮養中6.0耗、榮養良5.6耗、榮養下0。又女ニ於テハ榮養中10.8耗、榮養良9.8耗、榮養下0ニシテ、男女トモ榮養良ナルハ赤沈速度低シ。

又發育概評別ニ於ケル男ニアリテハ、概評乙6.1耗、概評丙5.8耗、概評甲5.4耗、又女ニアリテハ概評甲10.2耗、概評丙10.1耗、概評乙9.8耗ニシテ兩者ノ間ニ特別ノ關係ヲ見出ス能

ハズ。

尙ホ齶齒トノ關係ニ於テハ、男一アリテハ齶齒有ルモノ5.8耗、齶齒無キモノ5.6耗、又女ニ

於テハ齶齒有ルモノ11.0耗、齶齒無キモノ8.9耗ニシテ男女トモ齶齒ヲ有スルモノハ赤沈速度高キ傾向アルモ差異ナシト言フモ可ナリ。

第四節 赤血球沈降速度促進者ニ對スル臨牀の所見

Fahraeus 氏ハ、男子ニ於ケル赤沈速度9耗以上、妊娠セザル女子ニ於テ12耗以上ヲ、又 Westergren 氏ハ男子8耗以上、女子12耗以上ノ赤沈促進者ヲ病的ト見做セリ。余ガ今回ノ調査ニ於テ右ニ該當スルモノ男261人中53人(20.2%)、女137人中36人(26.3%)ニ上レドモ是等ヲ以テ直ニ病的トハ斷定スル能ハズ。然レドモ茲ニ中等値20耗以上ノ促進者ニ對シテハ特ニ綿密ナル體格検査及其他ノ觀察ヲ爲シ其ノ結果ヲ報告セントス。

第1例、■■■、男、19歳、赤沈速度1時間54耗、同2時間69耗、中等値44.3耗—身長157.0、體重50.4、胸圍81.5、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下2、「ツ」反應中等度陽性(++)、血液型A、既往症ナシ、胸部檢診異狀ヲ認メズ、第2回測定赤沈(第1回)測定後(1週間後)1時間18耗、2時間35耗、中等値17.8耗。

第2例、■■■、男、18歳、赤沈1時間26耗、2時間38耗、中等値22.6耗—身長1.482、體重50.7、胸圍79.5、體溫36.5、榮養甲、發育概評丙、扁桃腺正常、頸腺腫脹、齶齒下二、「ツ」反應第1回、2回共強陽性(++)、血液型B、既往症10歳ノ時肺炎加答兒ニ罹レリ、胸部理學的ニ異狀ヲ認メズ、第2回測定赤沈1時間11耗、2時間28耗、中等値12.5耗。

第3例、■■■、男、18歳、赤沈1時間40耗、2時間51耗、中等値32.8耗—身長1.72、體重36.2、胸圍82.0、體溫36.6、榮養乙、發育概評乙、扁桃腺腫脹、頸腺腫脹、齶齒下1、「ツ」反應第1回、2回共陰性、血液型AB、既往症ナシ、胸部異狀ナシ、第2回赤沈1時間12耗、2時間35耗、中等値14.8耗。

第4例 ■■■、男、18歳、赤沈1時間26耗、中等値26.3耗—身長1.621、體重57.25、胸圍84.0、榮養甲、發育概評甲、頸腺肥大、齶齒下1、「ツ」反應弱陽性(+）、血液型A、既往症ナシ、胸部異狀ナシ、第2回赤沈1時間66耗、2時間74耗、中等値51.5耗。

第5例、■■■、男、19歳、赤沈1時間54耗、2時間64耗、中等値43耗—身長1.595、體重50.6、胸圍78.8、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒無シ、「ツ」反應強陽性(++)、血液型A、既往症17歳ノ時肋膜炎ヲ患フ、胸部異狀ナシ、第2回赤沈1時間12耗、2時間23耗、中等値14.3耗。

第6例、■■■、男、17歳、赤沈1時間22耗、2時間33耗、中等値19.3耗—身長1.588、體重55.0、胸圍86.5、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺腫脹、齶齒無シ、第2回赤沈1時間2耗、2時間3耗、中等値1.8耗。

第7例、■■■、男、18歳、赤沈1時間38耗、2時間48耗、中等値31耗—身長1.67、體重64.5、胸圍84.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下2、「ツ」反應第1回中等度陽性(++)、第2回強陽性(++)、血液型A、體溫36.7、既往症無シ、第2回赤沈1時間3耗、2時間8耗、中等値3.5耗。

第8例、■■■、男、18歳、赤沈1時間25耗、2時間44耗、中等値23.5耗—身長1.65、體重49.6、胸圍98.0、榮養乙、發育概評丙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下1、「ツ」反應中等度陽性(++)、血液型AB、既往症無シ、第2回赤沈1時間3.5耗、2時間8耗、中等値3.8耗。

第9例、■■■、男、17歳、赤沈1時間24耗、2時間31耗、中等値19.8耗—身長1.638、體重59.7、胸圍84.5、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺肥大、齶齒無シ、「ツ」反應第1回、2回共中等度陽性(++)、血液型A、體溫36.7、既往症無シ、第2回赤沈1時間6耗、2時間16耗、中等値7.0耗。

第10例、■■■、男、20歳、赤沈1時間34耗、2時間46耗、中等値28.5耗—身長1.65、體重52.2、胸圍77.5、榮養乙、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒無シ、「ツ」反應中等度陽性(++)、血液型A、既往症無シ、第2回赤沈1時間6耗、2時間13耗、中等値6.5耗。

第11例、■■■、男、18歳、赤沈1時間42耗、2時

間 63 耗、中等値 36.8 耗—身長 1.672、體重 59.5、胸圍 84.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒無シ、體溫 36.0、「ツ」反應第 1 回、2 回共中等度陽性(+)、血型 B、既往症結膜炎。

第 12 例、■、男、18 歳、赤沈 1 時間 41 耗、2 時間 61 耗、中等値 35.8 耗—身長 1.564、體重 54.5、胸圍 85.5、榮養甲、發育概評丙、扁桃腺正常、頸腺肥大、齶齒下 1、體溫 36.5、「ツ」反應第 1 回、2 回共陰性(-)、血型 O、既往症脚氣症。

第 13 例、■、男、20 歳、赤沈 1 時間 22 耗、2 時間 38 耗、中等値 20.5 耗—身長 1.747、體重 62.0、胸圍 86.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺腫脹、齶齒無シ、「ツ」反應強陽性(++)、血型 A、既往症肋膜炎。

第 14 例、■、男、20 歳、赤沈 1 時間 20 耗、2 時間 40 耗、中等値 20 耗—身長 1.587、體重 56.1、胸圍 85.0、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺腫脹、齶齒無シ、體溫 36.8、「ツ」反應第 1 回中等度陽性(+)、第 2 回強陽性(++)、血型 A、既往症無シ。

第 15 例、■、男、19 歳、赤沈 1 時間 17 耗、2 時間 34 耗、中等値 17 耗—身長 1.614、體重 56.0、胸圍 82.5、榮養乙、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺腫脹、齶齒無シ、體溫 36.6、「ツ」反應第 1 回、2 回共強陽性(++)、血型 A、既往症無シ。

第 16 例、■、男、18 歳、赤沈 1 時間 24 耗、2 時間 31 耗、中等値 19.8 耗—身長 1.63、體重 52.5、胸圍 78.0、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺腫脹、齶齒無シ、體溫 36.6、「ツ」反應第 1 回中等度陽性(+)、第 2 回陰性(-)、血型 A、既往症無シ。

第 17 例、■、女、20 歳、赤沈 1 時間 38 耗、2 時間 60 耗、中等値 34 耗—身長 1.436、體重 42.5、胸圍 71.0、榮養乙、發育概評丙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒無シ、體溫 36.7、「ツ」反應強陽性(++)、血型 O、既往症無シ。

第 18 例、■、女、18 歳、赤沈 1 時間 37 耗、2 時間 48 耗、中等値 30.5 耗—身長 1.524、體重 55.0、胸圍 84.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下 1、體溫 36.7、「ツ」反應第 1 回、2 回共強陽性(++)、血型 B、既往症無シ。

第 19 例、■、女、18 歳、赤沈 1 時間 29 耗、2 時間 47 耗、中等値 26.3 耗—身長 1.586、體重 53.0、胸圍 80.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸

知セズ、齶齒下 2、體溫 36.4、「ツ」反應第 1 回、2 回共陰性(-)、血型 O、既往症無シ。

第 20 例、■、女、18 歳、赤沈 1 時間 37 耗、2 時間 44 耗、中等値 29.5 耗—身長 1.409、體重 43.0、胸圍 76.0、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒無シ、「ツ」反應第 1 回、2 回共強陽性(++)、既往症無シ。

第 21 例、■、女、16 歳、赤沈 1 時間 27 耗、2 時間 50 耗、中等値 27.8 耗—身長 1.53、體重 50.0、胸圍 78.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下 1、體溫 37.0、「ツ」反應第 1 回、2 回共強陽性(++)、血型 A、既往症肺炎。

第 22 例、■、女、16 歳、赤沈 1 時間 33 耗、2 時間 45 耗、中等値 27.8 耗—身長 1.537、體重 45.0、胸圍 73.0、榮養乙、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒上下 2、體溫 36.3、「ツ」反應第 1 回中等度陽性(+)、第 2 回強陽性(++)、血型 A、既往症無シ。

第 23 例、■、女、19 歳、赤沈 1 時間 29 耗、2 時間 43 耗、中等値 25.3 耗—身長 1.60、體重 56.5、胸圍 80.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下 1、體溫 36.7、「ツ」反應第 1 回、2 回共強陽性(++)、血型 A、既往症無シ。

第 24 例、■、女、18 歳、赤沈 1 時間 15 耗、2 時間 52 耗、中等値 20.5 耗—身長 1.502、體重 47.0、胸圍 76.5、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下 1、體溫 36.6、「ツ」反應第 1 回、2 回共強陽性(++)、血型 A、既往症無シ。

第 25 例、■、女、18 歳、赤沈 1 時間 29 耗、2 時間 37 耗、中等値 23.8 耗—身長 1.56、體重 52.0、胸圍 80.0、榮養乙、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下 1、體溫 35.7、「ツ」反應第 1 回、2 回共弱陽性(+)、血型 A、既往症無シ。

第 26 例、■、女、18 歳、赤沈 1 時間 19 耗、2 時間 28 耗、中等値 21.5 耗—身長 1.47、體重 48.2、胸圍 80.5、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺腫脹、齶齒下 1、體溫 36.0、「ツ」反應第 1 回、2 回共強陽性(++)、血型 B、既往症無シ。

第 27 例、■、女、19 歳、赤沈 1 時間 24 耗、2 時間 33 耗、中等値 20.3 耗—身長 1.472、體重 43.0、胸圍 73.5、榮養乙、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒上下 2、體溫 36.2、「ツ」反應第 1 回陰

性(-)、第2回弱陽性(+)、血型B、既往症神經衰弱並肺炎。

第28例、■■■■、女、19歳、赤沈1時間23耗、2時間39耗、中等値21.3耗—身長1.52、體重50.0、胸圍75.5、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒上1下1、體溫36.3、「ツ」反應第1回陰性(-)、第2回弱陽性(+)、血型B、既往症無シ。

第29例、■■■■、女、17歳、赤沈1時間23耗、2時間34耗、中等値20耗—身長1.511、體重45.1、胸圍76.1、榮養乙、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下2、體溫36.9、「ツ」反應第1回、2回共強陽性(卅)、血型AB、既往症無シ。

第30例、■■■■、女、16歳、赤沈1時間21耗、2時間38耗、中等値20耗—身長1.542、體重55.1、胸圍83.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒上1、體溫36.4、「ツ」反應弱陽性(+)、血型A、既往症無シ。

第31例、■■■■、女、17歳、赤沈1時間66耗、2時間83耗、中等値53.8耗—身長1.578、體重53.1、胸圍76.0、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒無シ、體溫36.7、「ツ」反應第1回、2回共強陽性(卅)、血型B、既往症腹膜炎。

第32例、■■■■、女、18歳、赤沈1時間60耗、2時間94耗、中等値53.5耗—身長1.579、體重53.7、胸圍83.1、榮養甲、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒下2、體溫36.2、「ツ」反應第1回、2回共強陽性(卅)、血型B、既往症無シ。

第33例、■■■■、女、17歳、赤沈1時間38耗、2時間60耗、中等値34耗—身長1.474、體重50.1、胸圍

83.0、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺腫脹、頸腺觸知セズ、齶齒下2、體溫36.0、「ツ」反應第1回、2回共陰性(-)、血型A、既往症無シ。

第34例、■■■■、女、16歳、赤沈1時間20耗、2時間49耗、中等値22.3耗—身長1.461、體重42.7、胸圍74.5、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺腫脹、頸腺觸知セズ、齶齒下2、體溫36.1、「ツ」反應弱陽性(+)、血型A、既往症無シ。

第35例、■■■■、女、18歳、赤沈1時間23耗、2時間36耗、中等値20.5耗—身長1.548、體重48.1、胸圍73.0、榮養乙、發育概評甲、扁桃腺正常、頸腺腫脹、齶齒上1、體溫36.1、「ツ」反應第1回、2回共強陽性(卅)、血型A、既往症無シ。

第36例、■■■■、女、18歳、赤沈1時間37耗、2時間44耗、中等値29.5耗—身長1.409、體重43.1、胸圍76.0、榮養甲、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒無シ、「ツ」反應弱陽性(+)、血型B、既往症無シ。

第37例、■■■■、女、18歳、赤沈1時間50耗、2時間72耗、中等値43耗—身長1.544、體重57.2、胸圍85.0、榮養乙、發育概評乙、扁桃腺正常、頸腺觸知セズ、齶齒無シ、血型O、既往症無シ。

以上37例ノ赤沈促進者ニ就テ觀ルニ、身長、體重及胸圍ニ於テハ同年齡ノ全國平均價ニ比シ或ハ高ク或ハ低ク一定ノ關係ヲ見出ス能ハズ、「ツ」皮内反應ニ於テハ男女トモ強陽性多キヲ示シ、又男女トモ齶齒ヲ有スルモノ多ク、男ニハ頸腺腫脹者多シ。

第六章 赤血球沈降速度ノ時間的推移

赤沈速度ノ成績ヲ表ハスニ一般ニ1時間及2時間値ヲ以テスルヲ普通トス、茲ニ余ハ30分ヨリ始メ、30分或ハ1時間毎ニ測定シ、最長50時間ニ互リ成績ヲ檢シ、其ノ時間的推移ヲ比較觀察セントス。

第11表ヨリ第14表ニヨリテ觀察スルニ、小學兒童ニ於ケル時間的推移ニアリテハ概シテ各時間ニ於ケル差異尠ケレド、中等學生ニアリテハ相當ノ差異ヲ示セリ、例セバ第11表ノ第1例

ト第2例ヲ比較スルニ、30分、1時間及2時間迄0.5耗—1耗—2耗ニテ大差ナキニ、7時間ニハ8耗ト26耗、24時間ニハ、23耗ト67耗、30時間ニハ28耗ト70耗ト云フガ如キ大差ヲ生ゼリ、又第6例、第7例ニ於テハ兩者トモ30分ニ於テ1耗、1時間1.5耗、1時間半2耗、2時間2.5耗ナルニ7時間ニハ9耗ト38耗、24時間ニハ31耗ト71耗、30時間ニハ38耗ト76耗ト云フガ如キ大差ヲ示セリ。尙第7例ト第

第 11 表 中等學生ニ於ケル赤血球沈降速度ノ時間的推移(A)

例順	年齢	測定時間 氏名	0.30	1.00	1.30	2.00	2.30	3.00	3.30	4.00	4.30	5.00	5.30	6.00	6.30	7.00	24.00	30.00	「ツ」 反應
			分	時															
1	20	■■■■	0.5	1	1	2	2	3	3	4	5	5	6	6	7	8	23	28	
2	19	■■■■	0.5	1	1.5	2	3	3	4	7	10	13	17	20	23	26	67	70	
3	20	■■■■	0.5	1	2	2.5	3	3	4	4	5	7	8	10	11	12	39	48	
4	20	■■■■	1	1.5	2	2.5	3.5	3.5	4	5	6	7	8	9	10	11	31	38	
5	20	■■■■	1	1.5	2	2.5	3	3	4	4	5	5	6	7	7	8	26	34	
6	21	■■■■	1	1.5	2	2.5	3	3	4	4	5	5.5	6	7	8	9	31	38	
7	19	■■■■	1	1.5	2	2.5	3	4	6	8	15	22	27	31	35	38	71	76	+
8	20	■■■■	1	1.5	3	6	11	20	27	32	38	44	47	50	53	55	77	81	±
9	20	■■■■	1	2	2.5	3	3	3.5	4	5	7	8	10	11	13	14	41	48	
10	21	■■■■	1	2	2.5	3	3.5	4	5	6	7	9	10	11	12	13	40	48	
11	21	■■■■	1	2	3	4	6	7	8	10	11	13	14	15	16	17	44	52	
12	20	■■■■	1	2	3	3.5	5	6	8	10	11	12	13	15	17	18	70	75	++
13	20	■■■■	1	2	3	3.5	4	4.5	5	7	8	9	11	12	14	15	41	48	
14	20	■■■■	1	2	3	4.5	6	7	9	10	11	13	14	15	16	17	42	48	
15	21	■■■■	1	3	4	6.5	9	10	12	13	14	15	16	18	19	20	46	55	
16	19	■■■■	0.5	4	10	16	19	22	25	27	29	31	34	36	38	41	73	78	+++
17	20	■■■■	0.5	6	13	18	21	23	25	27	29	31	33	35	37	39	75	78	+++
18	21	■■■■	2	6	12	19	26	28	29	30	32	33	34	35	36	37	71	79	+++
19	19	■■■■	2	6	12	16	20	22	24	26	27	29	31	33	35	36	72	76	+++
20	20	■■■■	1.5	8	13	19	23	27	31	35	39	40	46	49	52	54	81	84	+++
21	20	■■■■	4	10	16	18	20	23	26	28	31	34	37	40	44	47	85	88	+
22	19	■■■■	5	12	20	28	32	31	36	39	43	46	49	53	56	59	95	98	++
23	19	■■■■	7	17	24	34	40	43	46	48	50	52	54	57	58	60	106	112	+++
24	19	■■■■	15	21	27	31	34	35	38	42	46	49	52	56	58	61	92	96	++
25	19	■■■■	25	41	52	61	68	71	78	82	85	87	89	91	92	93	103	104	-
平	均		3.1	6.2	9.4	12.4	14.8	18.2	18.6	20.6	22.7	24.8	26.9	28.9	30.7	32.3	61.7	67.4	

第 12 表 中等學生ニ於ケル赤血球沈降速度ノ時間的推移(B)

例順	年齢	測定時間 氏名	0.30	1.00	1.30	2.00	2.30	3.00	3.30	4.00	20.00	24.00	48.00	50.00
			分	時										
1	19	■■■■	0	0	1	1.5	2	3	3	4	15	17	26	27
2	21	■■■■	1	1	1.5	2	3	3	3	4	17	20	37	38
3	20	■■■■	1	1.5	2	2	3	4	4	4	24	28	51	52
4	19	■■■■	1	1	1	2	3	3	3	4	25	32	57	59
5	19	■■■■	0.5	1	2	2.5	3	3	4	5	25	31	53	54
6	20	■■■■	0.5	1	2	3	3	4	5	6	27	32	53	54
7	20	■■■■	1	1	2	3	4	4	5	6	28	33	57	59
8	20	■■■■	1	1.5	2	3	4	4	6	8	31	36	55	57
9	20	■■■■	1	1.5	2	3	4	5	7	8	30	36	55	56
10	20	■■■■	1	1.5	3	3.5	4	6	7	8	33	37	58	59
11	21	■■■■	1.5	2	3	3	4	4	5	5	22	26	43	44
12	19	■■■■	2	4	6	8	10	12	15	17	49	51	73	75

13	20	■	2	4	6	8	11	12	14	16	39	43	59	69
14	20	■	3	4	6	8	10	12	14	15	38	42	57	58
15	20	■	3	9	19	26	30	31	33	35	58	63	81	82
16	20	■	6	13	20	28	34	38	41	43	78	82	95	96
17	20	■	8	20	32	40	46	50	53	57	97	99	103	104
平均			2.0	3.9	6.5	8.6	10.5	11.7	13.1	14.4	37.4	41.8	60.6	60.9

第 13 表 小學生ニ於ケル赤血球沈降速度ノ時間的推移(男)

番號	年齢	測定時間 氏名	0.30	1.00	1.30	2.00	2.30	3.00	4.00	12.00	24.00	血型 「ツ」 反應
			分	時								
1	11	■	1	3	6	9.5	12.5	15	21	49	59.5	O-
2	12	■	1.5	3.5	5.5	9	11	13	18	41.5	52	A-
3	13	■	1.5	4	7	9.5	12.5	15	20.5	43	53	O-
4	12	■	2	4	6.5	9	12	14	20	50	65	O-
5	14	■	2	5	7.5	11	13.5	16.5	24	51	67	O-
6	13	■	2	6	10.5	15	19	23	29.5	50	60.5	ABH
7	11	■	2.5	6	10	14.5	19	23.5	32.5	75	89	A-
8	13	■	2.5	6	10.5	15	19	23.5	32	64.5	77	A-
9	12	■	2.5	6.5	11.5	17	21.5	26	34.5	69	81	A-
10		■	3	7	12	17	22	26	34.5	60	71.5	A-
11	11	■	3	8.5	13.5	19	25	30	38	61	71.5	A-
12	14	■	3.5	8	13	18	22.5	27	35	60	74	O-
13	14	■	4	8	13	18.5	24.5	28	36.5	61	74	A-
14	9	■	6	11	17	24	29	34	43	68	78.5	A±
15	13	■	4	11	19	26.5	33.5	39	48	69.5	85	O-
16		■	5	12	18	25	32	38.5	49	79	90	AB-
17	14	■	5	13	22	29.5	37	43	53	74.5	87	O-
18	9	■	5.5	13	21	28	35	41	49	65	76	A-
19		■	6	13	22	30	37.5	43.5	53	71	84.5	B-
20	11	■	5.5	14	23	32	39.5	46.5	57	80	91	OH
21	14	■	6.5	15	24	32	40	47	58.5	85	97	A-
22	11	■	7	15	24	33	41	48	59	81	93	A-
23		■	6.5	15	24	33	41	48	58	77	87	AB-
24	10	■	6	16	27	38	47	54.5	64	80	93.5	AB-
25	11	■	6	18	30	41	49	54.5	61.5	79	94.5	O+
26	10	■	8	19	30	38	45	50	56	72	88	O-
27	11	■	9	23	38	51	62	71	81	99.5	113	O-
28	9	■	10	22	33	42	49	54	59.5	77	93	O-
29		■	12	27	43	56	67	74	81.5	101	112	AB-
30	10	■	15	30	42.5	52	59.5	64	70.5	92	101	B-

第 14 表 小學生ニ於ケル赤血球沈降速度ノ時間的推移(女)

番號	年齢	測定時間 氏名	0.30	1.00	1.30	2.00	2.30	3.00	4.00	12.00	24.00	血型 「ツ」 反應
			分	時								
1	13	■	1	2	5	8	11	13.5	17	30.5	42	B-
2	13	■	1.5	3.5	7	9.5	13	16	22	52	65	O-

3	11	■	1	4	6.5	10	13	16	23	56	68	A卅
4	12	■	1	4	8.5	12.5	16.5	20	26.5	52.5	64	O一
5	12	■	2	5	8.5	12	15.5	19	26.5	56	66	A卅
6		■	2.5	5	8.5	12	16	20	27	56	72	O±
7	14	■	3	5	8	11	14	17	23	50	70	A一
8	12	■	2	6	10	15	19.5	24.5	31.5	65	75	B一
9	13	■	2	6	10.5	15	19.5	23.5	31	52.5	63	O一
10	13	■	2	6	10.5	15	19.5	23.5	32	58.5	74	A一
11	13	■	2	6	11	16	20.5	25	33	65	77.5	O一
12	10	■	3	7	11	16	21	25.5	33.5	59	72	A一
13	14	■	3.5	8	14	19	24	29	39	68	80	AB一
14		■	4	9	16	24	30.5	37	47.5	76	88	A一
15	10	■	4	9	15	22	28	33.5	42	64.5	75.5	O一
16	12	■	4	9.5	16	22.5	28	33	42	68	79	A一
17	14	■	5	11	18	24	30	35	45	72	84	O一
18		■	4	12	19	27	34	41	49	67	79.5	B一
19	10	■	4	12	22	31	38	43.5	50	64	78	A一
20		■	5	12	20	28	35	40.5	50	74	83.5	A一
21	10	■	5	12	20	28.5	35	40	48.5	66	84	A一
22	9	■	5.5	13	21	28	36	42	51	68.5	78.5	B一
23	12	■	5	14	23.5	33	40.5	47	57	77	88.5	B一
24	11	■	6.5	14	22	30.5	37.5	43.5	52	68	80	B一
25	9	■	6	15	24	33	40	45	52	66	81.5	AB一
26	11	■	6	15	23	30	36.5	41.5	48	61.5	77	A一
27	11	■	7	16.5	25	33	39.5	44	50	70	87	AB一
28	13	■	7	17	27.5	37	44	50	58	74.5	87	A一
29	11	■	8.5	19.5	29	36.5	42.5	46.5	52	72	86	AB一
30		■	10	21	34	45	54	61	70	87	99	O一

16乃至第17、第18、第19例ヲ比較スルニ1時間及2時間値ニ於テハ3倍、4倍ノ差ニ過ギザルモノガ、7時間後或ハ24時間及30時間後ニハ稍々一致ノ速度ヲ示セリ。

是等ノ所見ヲ綜合スレバ、今一般ニ行ハル、1時間及2時間値ノミニテ赤沈速度ヲ決定スルヨリモ Westergren 氏及 Katz 氏等ノ説ノ如ク

24時間値ヲモ参考ニシ、尙能フ限り各時間ニ於ケル測定ヲ試ムベキナリ。

因ニ24時間値ニ於ケル赤沈70以上ノ高速者ニ就キ、「ツ」反應トノ關係ヲ觀ルニ、小學兒童ニ於テハ特別ノ關係ヲ見出ス能ハザレド中等學生ニ於テハ殆ンド強陽性ナルヲ知レリ。

第七章 總 括

1. 余ノ調査ニ於ケル赤沈速度中等値ハ中等學生一アリテハ男261人平均ニ於テ5.9耗、女137人平均ニ於テ9.9耗ニシテ又小學兒童ニアリテハ男30人平均ニ於テ12.7耗、女30人平均ニ於テ10.4耗ナリ。

2. 性的關係ヨリ觀レバ、中等學生ニ於テハ男ヨリモ女ノ赤沈速度大ナレド、小學兒童ニ於テハ其ノ反對ニ女ヨリモ男ノ速度促進セリ。

3. 年齡ノ關係ニ於テハ、中等學生ヨリモ小學兒童ノ赤沈速度ハ促進セリ。

4. 「ツ」皮内反應強陽性者ニ於テハ、同陰性者ニ比シ赤沈速度稍々促進セル傾向アリ。
5. 各血液型ニヨリ赤沈速度ニ多少ノ差異アル如キモ明確ナル結論ヲ得ズ。
6. 榮養不良ナル者ハ良ナルヨリモ、亦齶齒有ル者ハ無キ者ヨリモ赤沈速度稍々大ナリ。
7. 赤沈速度中等値20耗以上ノ促進者ハ、男261人中16人ニシテ6.1%、又女ニ於テハ137人中19人ニシテ13.9%ニ當リ、女ハ男ニ對シ2倍以上ノ高率ヲ示セリ。
8. 健康ナル赤沈促進者ニ就キ個々ノ臨牀的所見ヲ綜合スルニ、
 - イ、身長、體重及胸圍ニ於テハ同年齡ノ全國平均價ニ比シ或者ハ高ク或者ハ低ク特別ノ關係ヲ見出ス能ハズ。
 - ロ、「ツ」皮内反應トノ關係ニ於テハ男女トモ強

陽性多シ。

(ハ)男女トモ齶齒ヲ有スル者多シ、

(ニ)男一ハ頸腺腫脹者多シ。

然レドモ一方結核ノ既往症ヲ有スルモノ尠ナク又現在ノ聽打診ニ於テハ別ニ異狀ヲ認ムル能ハズ、尙X線検査及其他ノ方法ニテ調査ス可ク又長期間ノ觀察ヲ要スベシ。

9. 赤沈速度ノ時間的推移ヲ觀ルニ小學兒童ニ於テハ差異尠ケレド、中等學生ニ於テハ時間的ニ相當ノ差異ヲ示セリ。

擱筆スルニ臨ミ、御懇篤ナル御指導及御校閲ヲ賜ハリタル今村荒男教授ニ謹ミテ感謝ノ意ヲ表ス、尙御助言ヲ賜ハタリタル稅所博士及井下學士竝ニ本調査ニ當リ多大ナル便宜ト援助ヲ賜ハリタル學校當局諸卿ニ深謝ス。

參考文獻

- 1) 今村荒男, 肺結核ノ豫後. 大阪醫事新誌. 第4卷, 第10號.
- 2) 井下勝馬, 田中幸男, 米田庄三郎, 健康者竝ニ肺結核患者ニ於ケル非定型の赤血球沈降速度ト其豫後の意義ニ就テ. 結核. 第12卷, 第6號.
- 3) 東田一夫, 各種赤血球沈降速度測定法ト其實施術式ニ就テ. 大阪醫事新誌. 第2卷, 第10號.
- 4) 大谷誠, 内科的疾患ニ於ケル赤血球沈降反應ニ就テ. 日新醫學. 第15卷, 757頁及967頁.
- 5) 渡部佳吉, 内科的結核疾患ニ於ケル赤血球沈降速度ノ臨牀的意義ニ就テ. 十全會雜誌. 第30卷, 第9號.
- 6) 原素行, 赤血球沈降速度ニ就テ. 診断ト治療. 第14卷, 第2號.
- 7) 長島豐治, 内科的結核性疾患ニ於ケル赤血球沈降速度並ニ其本態ノ研究. 結核. 第4卷, 第10號.
- 8) 佐々虎雄, 小林芳夫, 肺結核ノ臨牀ニ於ケル赤血球沈降反應ノ意義. 結核. 第8卷, 第10號.
- 9) 荒川常太郎, 腸「チブス」ニ於ケル赤血球沈降速度ノ臨牀的價値. 日本傳染病學會雜誌. 第4卷, 第11號及第12號.
- 10) 伊丹繁, 赤血球ノ生物學的研究ノ最近業績.
- 11) 竹本平一郎, 赤血球沈下反應ニ就テ. 日本微生物學雜誌. 第18卷, 第516號.
- 12) 村上純一, 肺結核ニ於ケル赤血球沈降速度ニ就テ. 京都醫學會雜誌. 第11卷, 第6號.
- 13) 小笠原清, 血球ノ沈下反應及其ノ原因的研究. 大正婦人科學會雜誌. 大正10年第9號及第11號.
- 14) 津田榮, 堤辰郎, 妊婦血球沈降現象ノ本態ニ就テ. 慶應醫學. 第1卷, 第8號.
- 15) 村上純一, 赤血

- 球沈降速度ニ就テ. 朝鮮醫學會雜誌. 大正10年, 第35號.
- 16) 木下, 血球沈降速度ニ就テ. 岡山醫學會雜誌. 第389號.
- 17) 柘植恭一郎, 赤沈ニ關スル知識ト其ノ内科的疾患ニ對スル應用. 治療及處方. 昭和3年7月號.
- 18) 東田一夫, 大沼清治, 血液型ト赤沈. 大阪醫學會雜誌. 第30卷, 2151頁.
- 19) 加藤正雄, 臨牀病理學血液學雜誌. 第3卷, 1313頁.
- 20) 吉本勝, 十全會雜誌. 第33卷, 第6號, 269頁.
- 21) 熊谷岱藏, 肺結核第9回日本結核病學會講演. 昭和7年.
- 22) 勝沼精藏, 血液像並ニ血液諸反應ヨリ觀タル肺結核ノ豫後. 結核. 第12卷, 第7號.
- 23) Westergren, A., Zur Methodik der Senkungsreaktion. Dtsch. med. Wschr. 1923. Nr. 7. S. 218.
- 24) Westergren, A., Ergebniss der inneren Medizin u. Kinderheilkunde. Bd. 26. S. 648, 1924.
- 25) Westergren, A., Beitr. z. Klin. d. Tbc. Bd. 46, 1921. Katz & Leffkowitz, Erg. inn. med. Bd. 33. S. 266, 1928.
- 26) M. Leffkowitz, Die Blutkörperchensenkung (Monographie) Urban & Schwarzenberg(1932).
- 27) Fahraeus, Kongresszentralblatt für die gesamte innere Medizin. Bd. 22. S. 294, 1922.
- 28) M. Bardach, Archiv für Kinderheilkunde. Bd. 70. H. 2. S. 114, 1922.
- 29) Pritram u. Otto Klein, Kongresszentralblatt für die gesamte innere Medizin. Bd. 29. S. 535, 1923.